

県医労新聞

2015年4月
盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電話 019-623-8271
FAX 019-623-8273
URL <http://www.iwate-ken-irou.org/>
編集発行人
中野 るみ子
毎月1回発行1897号(月刊112号)



中央支部組合説明会(2014年4月)

目次

- 1 P 新採用者のみなさんへ
 - 2 P 新採用でも労働者
 - 3 P 東日本大震災津波4年のつどい
祈りの灯火
 - 4 P 自治体病院全国交流集会
3.13重税反対全国統一行動
 - 5 P 看護部ニュース
 - 6 P 女性部ニュース
 - 7 P つぶやき、とんがらし
2月号パズル当選者
 - 8 P 退職者インタビュー
 - 9 P お知らせ
 - ◇ろうきんキャンペーン
 - ◇定期大会のお知らせ
- 懸賞パズル 4・5月の予定



新採用者のみなさんへ

中央執行委員長 中野るみ子



ご就職おめでとうございます。

岩手県医療局労働組合（県医労）は、心からみなさんを歓迎します。人生にお

ける新たな第一歩。期待と緊張の日々ではないでしょうか？

採用された勤務地で、「初めてここに来ました。来たことすらありませんでし



青年部長 ○ ○ ○ ○

皆さん、初めまして！青年部長の○○と申します。よろしくお願いいたします！

青年部では色々な行事を企画しています。フレッシュセミナー、中央交流会やスキースノボ交流会、また他の組合と合同で行うプレアクトや今年は福島で行われる全国アクトも楽しいですよ！是非皆で楽しい思い出を沢山作りましょう♪

た」との言葉をよく耳にします。そんな時、どれだけ今自分がたくさんのストレスを抱えながら頑張っているかに気づいて欲しいと感じます。①仕事を覚えること、②人を覚え、③場所や物を覚え、④新しい地域・居住環境、で生活しているのです。「頑張りすぎず慣れることが大事」と、自身に言い聞かせて欲しいと思います。

東日本大震災津波から4年余。「絆」の大切さが改めて確認されました。私たち労働組合は、「絆」の本家・本元です。仕事の内容は先輩に聞けますが、聞きにくいこともあります。一人で悩まないで、「困った時の労働組合」にして欲しいと思います。

県医労は、元気で働きやすい職場・働き続けられる職場をつくっていくために活動しています。現実には医療制度や診療報酬制度など、厳しい縛りの中で、本来の働く喜びややりがい、安全・安心の医療・看護を失いかねない環境にあふれています。



女性部長 ○ ○ ○ ○

「一人で悩まないで!! 相談し合い、励まし合うのが女性部!!」。私たち女性部は、食事会やレクリエーションなどを開催し、その中で職場の状況などを話し合いながら、楽しく活動しています。また、母親大会やはたらく女性の集会など、医療職場だけでなく様々な職場の女性たちとも交流しています。ぜひ、一緒に楽しく活動しましょう。

～新採用でも労働者～

研修期間でも時間外に働いた分は しっかり請求しよう!



よひん県病へ

新採用者・転入者を迎へ、職場は新体制でスタートしました。新しい環境では、勝手が分からず戸惑いも多いものです。疑問や問題は遠慮せず職場の先輩に尋ね、迎える側も積極的に声を掛け、不安を解消してあげましょう。

労働組合って何?

県立病院には、正規職員約7割(医師を除く)が加入する「労働組合」があります。正式名称は「岩手県医療局労働組合(略称Ⅱ県医労)」。看護はもちろん医療技術や事務、栄養管理

など、臨時職員やパート職員も加入できます。

県医労では、労働条件の改善と労働者の生活向上を追求し、組合員とその家族の福利厚生も行っています。権利など様々な学習活動、旅行や食事会などの文化活動もあり、青年部(30歳までの組合員)では季節に応じ、キャンプやスキー・スノーボード交流会なども実施しています。ぜひ県医労に加入し、一緒に学び親

睦を深めましょう。

定時に帰ろう

「超勤」は請求しよう

慣れない仕事は時間が掛かるもの。仕事の手順や物品の場所を覚えるだけで精一杯かもしれません。でも帰宅時刻になっても仕事が終わらない時、あなたならどうしますか。そのまま帰宅できればいいのですが、実際にはそうもいきません。もちろん基本は定時で帰ること。仮に時間外まで

働いた場合には、別途手当が発生します。

時間外労働のことを「超勤(超過勤務)」とも言います。日勤なら始業8時30分前、終業17時15分以降はもちろん、昼休憩(60分)に休めない分も全て「超勤」です。「働いた分は請求する」のは当然で、新人であっても法律での区別はありません。もれなくきちんと請求しましょう。

年次休暇は 個人の「権利」



「年次休暇」は、個人が自由に取得できる休暇です。病気休暇などとは違い、取得に特別な理由は一切不要。行事や予定が特になくても、休みたい時に請求

できます。個人の「権利」であり、病院長や職場上司から「もらう」ものではありません。「年次はあげられない」などと平気で言う職場管理者がたまにいますが、それは大きな間違いであり権利侵害です。

交代制職場では、勤務表作成時に「休み希望」として、他職員と事前調整していますが、あくまでも年次取得の正式ルールは「有給休暇処理簿」に記入し提出すること。使用者側には、休暇を別の日に変更させる権限(時季変更権)がありますが、あくまでも「病院の事業運営に著しい支障がある」などの、特別な場合に限定されています。



誰もが安心して暮らせる

オンリーワンの町づくり



米崎町の子どもたちによる重倉太鼓の演奏(陸前高田市営農センター)

救援・復興岩手県民会議が主催する東日本大震災津波4年の集いが、3月1日に陸前高田市内で開催されました。

米崎町の子どもたち22名による力強い太鼓の演奏が、各地から集まった230名の参加者を歓迎しました。

続いて、前日から被災地調査に訪れていた日本共産党・小池晃参院議員と全国

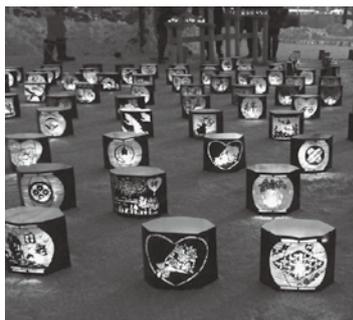
災対連・小田川義和代表世話人が来賓あいさつをし、激励と連帯の言葉を述べられました。

講演した戸羽太市長は、人材、資材不足で復興が進んでいない現状について、「国がリーダーシップを取っていかないと、理想論を言っても限界がある。金持ちをもっと金持ちにするために、政治があるわけじゃない、

復興への誓い ～これからも共に～

3月11日(水)、盛岡市では《東日本大震災4周年行事》として14時30分から県公会堂で「追悼式典」を開催、併せて17時からは盛岡城跡公園の広場で「祈りの灯火2015」を開催しました。

全国から寄せられた12000個の灯籠に震災で犠牲になられた方々へ追悼の意を込め、ボランティアが一つ一つ灯りを灯しました。



いわて労連も実行委員会に加わり、激しい風と雪まじりの天候の中、15時30分から設置作業に取り組み、復興への想いを一つにしました。



戸羽 太 陸前高田市長

困っている人に手を差し伸べるために政治は存在するはず」と強調。市民に寄り添い、復興を担う仲間である子どもたちからも意見を

聞きながら、日本のどこにもない「オンリーワン」の町づくりを進めていく決意を話しました。

「被災地の今を語り合う」をテーマに行われた、市の復興に携わる4名(商工業、建設業、社会福祉協議会など)からの報告では、ワークショップやお茶っこ飲み会、出前相談など各分野の取り組みが紹介されました。

自治体病院労組等が集まり、交流

住民の声が生きる地域医療づくり

日本医労連自治体・公立病院労組全国交流集会

毎年開催されている日本医労連の自治体・公的病院労組の全国交流集会が、2月28日から3月1日に、兵庫県神戸市内で開催され、

13都府県から46人（県医労から3人）が参加しました。

折しも、阪神淡路大震災から20年ということで、神戸駅の地下広場では、パネル展示がされ、東

地域医療づくりが大事だと話しました。

2日目は、組織拡大や労働条件の改善などで各地から特別報告の後、2つの分科会に分かれました。

「夜勤改善と大幅増員」分科会では、人手不足、パワハラ、不払い労働などの

実態と組合の取り組みが交流され、特定行為のミニ学習が行われました。「地域医療をまもるたたかい」分



吉村書記次長（右）が全体まとめ

1日目は、「地域医療ビジョンと自治体病院」と題して、三重短期大学・長友教授が記念講演。今の国の姿勢を「社会保障における公的責任からの脱走を図りつつある」と批判。住民の声が生きる

「地域医療をまもるたたかい」分科会では、地域医療構想を前提に、自治体病院の新ガイドラインが策定され、ベッド削減のターゲットにされる危険性と地域医療を守っていくことの大切さを確認し合いました。

これ以上の増税は許さない！

3・13 重税反対全国統一行動

3月13日、重税に反対する統一行動が全国で行われ、盛岡では、教育会館を会場に県中央集会在開催されました。「消費税をなくす全国の会」の木口力事務局長が、「国の財政は消費税を上げなくても問題ない。消費税を無くしてもやっていける。後世に悪税を残さないことが大事」と講演しました。

講演終了後は、増税反対だけでなく被災地復興やいのち・くらしを守るアピールをしながら盛岡税務署までデモ行進し、税務署長に重税反対の要望書を申し入れました。



重税反対をアピール



税務署へ申し入れ

3・3国会議員要請行動

3・4対政府交渉

切実な現場の訴え

増員署名に託す!



新卒看護師自死について発言する
KKR札幌医療センターの看護師

日本医労連、自治労連、全大教の医療3単産共催の「3・3国会議員要請行動」、「3・4対政府交渉」が行われ、全国から321名（県医労からは3名）が参加しました。

これまで取り組んできた「夜勤改善・大幅増員」署名22万4559筆を積み上げて開催された意思統一集会には、6名の国会議員（いずれも共産）から激励の挨拶がありました。保団連の寺尾正之氏は「医療提供体制と医療保険制度の『一体的改革』の現段階と課題」と題し講演。今進められて

いることは①医療・介護の給付抑制②病床削減③医療費の負担増の一体的攻撃であり、患者は病院から地域に押し出され、家庭や地域でも受け止める担い手は不足していると指摘。住民本位の医療・介護ネットワークをつくり、住民の目線で声を上げ、地方自治体への要請や、政府へ働きかけていく必要があると話されました。

その後各団体から、看護実態アンケートの結果を基にした職場の過酷な現状や、働きにくい環境の一因としてパワハラが長い期間続いている実態などが報告されました。

午後の国会議員要請では、地元選出の議員らを訪問し、看護・介護現場の人手不足の深刻な状況を訴え、賛同・紹介議員（黄川田議員・民主

平野議員・無所属）の2名に、「夜勤改善・大幅増員」の国会請願署名を手渡ししました。

4日の政府交渉は、厚労省や総務省など7つの分野に分かれて行われました。看護関係の厚労省交渉には、全国から40名以上が参加。看護現場の過酷な実態として「KKR札幌医療センターでの新卒看護師の自死」について発言があり、多くの医療現場が人員不足で、同じ事が起こりうる現状であることを訴え、「看護師確保法」に夜勤回数や勤務間隔12時間以上など、最低限の規制を国の責任で盛り込むことを強く要請しました。

いきがいのもてる看護を!!

2015年岩手県ナースの会一泊集会

- 【日時】 5月16日(土) 13:00～
- 【会場】 おでってホール
白衣に着替えて集合
- 【企画】 ○基調報告
○記念講演 「ハラスメントをどうとらえるか」
講師：高山直子さん（サポートハウスじよむ）
○リレートーク「職場からの報告」
○白衣のアピール行進・署名行動

**新人を誘って参加しよう!
楽しく働き続けられる職場を作ろう!**

主催：岩手県医療労働組合連合会看護対策委員会

岩手医労連第55回女性労働学校

自分を磨いて女子力UP!



講演する新妻二男さんと聞き入る参加者

岩手医労連第55回女性労働学校が、2月21日、盛岡市勤労福祉会館で開催されました。

午前は分科会が行われ、第1分科会は佐々木良博弁護士を講師に「ハラスメントについて」を学習。パワハラが労働相談の3割を占めており、パワハラと指導

の違い、ハラスメントの定義を知ることの重要性を学びました。

第2分科会は「エコ講座 風呂敷結び」。講師は岩手県環境アドバイザーの川辺弥生さん。実用的なものから、おしゃれなものまで風呂敷の結び方を学びました。昔は商人が家のロゴを入れて宣伝も兼ねて使っていたという歴史も知ることができました。

第3分科会は人気の「健康づくり講座」。今回は、自然に任せて、頑張らない運動。脱力の仕方、自分の体重を使ってできる指圧方法などを自立的整体法ナビゲーター・食アドバイザーの早渡京子さんが伝授して

くれました。

午後は、岩手大学教育学部長の新妻二男さんが講演。青年期の特徴を時代背景に照らし合わせて分析。

現代の青年は人との繋がりが薄れているが、その寂しさを感じさせないアイテム（ゲーム・SNSなど）がある。物について熱く話す「物語り」はできるが、人について話す「人語り」ができないと人間関係の希薄さを指摘。青年から見われつつある「未来」を取り



パワハラについて話す佐々木良博弁護士



「エコ講座＝風呂敷結び」。形に合わせて、おしゃれに結ぶ。



土踏まずをフミフミ。足つほマッサージ。「気持ちい〜」

戻せるかどうかは、大人の課題でもあると結びました。

この日の女性労働学校には、岩手医労連加盟単組から60名（県医労10支部・本部20名）が参加しました。

中央支部女性部が「ランチの会」
ゆっくり食事ができました



洋食コース(ホテルメトロポリタンニューウイング)

中央支部女性部は2回にわたりランチの会を開催しました。

1回目の2月28日は和食コース。老舗料亭「駒龍」で18名が参加して季節の料理を堪能しました。2回目の3月3日は洋食コース。「ホテルメトロポリタンニューウイング」で14名が参加。食べるだけでなく、食事会の前には36協定について、しっかり(!)勉強しました。

参加者からは「ゆったりとした、とてもすてきな時間を過ごすことができました」との感想が寄せられました。



和食コース(料亭「駒龍」)

びんざん

震災から4年が経ち、その間変わらないこと、変わったこと、様々あったと思います。沿岸被災地の復興は明らかにまだまだです。一人ひとりが健やかに安心して暮らせる日々が来て欲しいものです。

大船渡支部 ○○○○

2月に福島第一原発の近くを通ってきました。民家や商店の前はバリケードがあり、立入禁止。ここにいる人々の生活が奪われていると感じました。遠目に見る第一原発がとても恐ろしく思いました

南光支部 こんにちは

明日は3・11。14時内示とのこと。震災を体験した者として、なんだかソワソワ。職場のメンバ―も飛ばされなにかと、心ここにあらず。働きやすい職場ナ

ンパーワンは、一体どこなんでしょうか。平等な勤務表作成してくれる上司お願いします。

中部支部 ユキヤナギ

今回のパズルは少し難しく自分では5つしか見つけられず、長男(小5)が参戦!!残り2つ見つけてくれました。いつもは「早く寝なさい!」「宿題やりなさい!」など口うるさく言い、時にムカつくこともある子どもですが、「ママ、みつけたよ!」

のニコニコ笑顔を見ると、やっぱかわいいです。

中央支部 ○○○○

先日、網走へ行ってきました。憧れの流水を見に行つたのですが、強風・高波で舟が動かず、見れずじまいでした。来年に持ち越しです。

久慈支部
リアス先輩



当選者発表

2月号パズル

2月号パズル「まちがいは7つ」には31名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

船渡支部

■2月号当選者(敬称略)

ちーこ(久慈支部)、マサオ、じやがいもの花、匿名希望(中央支部)、そうま。(中部支部)、半額シールの女(江刺支部)、おつかれママ、バナナケーキ(磐井支部)、雪だるま(大東支部)、匿名希望(大船渡支部)

とんがらし

今年は一地方選挙の年で、4月に知事や議員等の選挙が全国で行われる(岩手県は震災の影響で9月の予定)。今の政治にノーを突きつけるのは、衆・参議院選挙も大きなチャンスだ。政権与党の推す候補が落選することにより、世論が今の政治に納得していないことを伝えることができる▼

実際には、候補者が無所属と言いながら、実は過去に保守政党から立候補していたり、党利党略で有利な候補に相乗りしているも分かります。わたくしは有権者は、そのなかでしっかりと候補者の政策や人となりを見極め、投票する必要がある▼もつたないことに投票に行かない人達は、世論を変えるチャンスを自分で逃しているということだ。「何千万人のうちの1人が投票しなくても影響は無いし何も変わらない」と思っている人が多いだろう。しかし、今の投票率から考えると、その1人が投票することで大きく政治が動く可能性が高い。選挙の大切さをまわりにひろげ、しっかりと投票することが重要だ▼1人の力はたかがしれている。しかし、ここで何もしないと本当に何も変わることは無い。一歩踏み出さないことには何も始まらない▼1人が2人、2人が4人と増えていくことで大きな力になる。組合活動も同じ。みんなが一緒に声を上げることで、大きな力となる。4月は組合加入を促進させて、要求実現のための力を結集させていこう。

(H)

退職者インタビュー



〇〇さん
(一戸支部)

〇〇さんは、かつての県立北陽病院の前身である県立二戸療養所が初任地で准看護師として働き始めました。昭和49年から2年間、高等看護学校に進学。その後、北陽病院、一戸病院、南光病院を経て今年、一戸病院看護師長で定年退職を迎えます。

「精神科は学ぶことが多い」と振り返ります。

これまでの組合活動やこれからについてお聞きしました。



仕事も組合も

コミュニケーションが大切

看護師になつたきっかけ

高校進学の時、工業高校に進学しなかったが、色弱があり進学を断念せざるを得なかった。姉が准看護師をしていて、祖母からもすすめられたことや、学校の先生から、男も看護師になれると聞き、看護師になった。

看護師としての思い

看護師になつてずっと精神科看護に関わってきた。今は、精神科も在宅医療という流れだが、何十年と入院している患者さんも多く、退院が難しいケースが

多い。これからはますます大変になってくると思う。

組合加入のきっかけと思い出

組合加入は、17才で働き始めたとき、先輩の看護師に「入れ！」と言われて素直に入った。

青年部の頃、田沢湖わらび座で行われた第1回全国アクトに参加（県医労から63名）して、いろんな人達と交流できるのが楽しくて、3年ぐらい続けて参加した。

後輩へのメッセージ

支部長をやっていた時は、北陽と一戸病院の統合

があり、色々大変だった。組合でも仕事でも、チームワークとコミュニケーションが大切。おかしいと思ったことは、その都度声に出すようにして、うやむやにしないことが大事だ。そうしないと、医療事故や労働条件の悪化につながってしまう。今の権利があるのは先輩たちがたたかってきたからだ。

今後の予定

娘も看護師で弘前に嫁いでいる。子どもがまだ小さいが夜勤もしていて大変。いろいろな考え、弘前に家を建てた。退職して、こちらの家の整理ができれば弘前に移住し、「孫の世話」をする。弘前には、安い日帰り温泉もたくさんあるので「温泉三昧」したいと思っている。仕事の話は、その後に考えたい。

がんばれ! フレッシュヤーズ!!

フレッシュヤーズ

キャンペーン

2015年 3月1日(日)～9月30日(水)

3つの“便利”でフレッシュヤーズを応援します!

- 給与振込
- カードローン (マイプラン)
- ろうきんダイレクト (インターネットバンク)

今ならもれなくプレゼント!!

QUOカード 1,500円分

最高3枚

オリジナル選物ケース

東北労働金庫 0120-1919-62

第71回定期大会

日時 6月19日(金)
20日(土)

ところ

提携・つなぎ温泉 HOTEL SHION 紫苑

全支部、代議員の参加で成功させよう

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所を印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送先は〒020-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は4月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つ

懸賞パズル



「ばやき」(職場の話など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合がありますので、匿名希望の方は必ずペンネー

ムをお書きください。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入をお忘れなく!

4月の予定

- 7日(火) 看護部会(県民会館)
- 18日(土) 支部長会議(水産会館)
- さようなら原発集会2015(教育会館)
- 18日(土)～19日(日) 日本医労連2015年役員セミナー(松島)
- 25日(土)～26日(日) 退職者をねぎらう集い(秋田県大仙市)
- 25日(土)～5月1日(金) NPT再検討会議(ニューヨーク)
- 26日(日) 集団的自衛権を考える集い(県公会堂)

5月の予定

- 1日(金) 第86回メーデー
- 3日(日・祝) 憲法記念日のつどい(プラザおでって)
- 16日(土) ナースウェーブ集会(プラザおでって)
- 23日(土)～24日(日) 岩手医労連青年部プレアクトいわて(愛隣館)
- 23日(土) 支部長会議